

学校だより

令和4年12月発行 鳥羽商船高等専門学校
広報・公開委員会「広報誌専門部会」
三重県鳥羽市池上町1番1号 TEL 0599-25-8013



漕艇大会優勝



ロボコンデザイン賞・特別賞受賞



プロコン特別賞受賞

- 校長挨拶
- 新任教職員紹介
- 学科等の紹介
- 就職・進学
- 学生の活躍

- インターンシップ
- クラブ紹介
- 乗船実習
- 学生寮
- 国際交流プログラム

- 学生会活動
- 教員の活躍
- 学校通信

校長挨拶

校長 和泉 充



伊勢志摩国立公園にあって伊勢市、志摩市に隣接し、歴史的にも水軍の拠点、水運の要衝で知られる鳥羽市池の浦に立地する本校は、校祖近藤真琴翁が明治8年（1875年）9月に芝新銭座二番地（現在の東京都港区浜松町）に航海測量習練所（後の商船養成）として創基し、分校として、明治14年（1881年）8月20日に三重県鳥羽町に鳥羽商船養成として創立、変遷を経て、昭和42年（1967年）6月に国立鳥羽商船高等専門学校（高専）となり、2004年に独立行政法人国立高等専門学校機構の傘下となって現在に至っています。来る令和7年（2025年）9月には、創基150周年・高専創立60周年記念事業を計画しており、伝統的に学校の施設整備や環境整備、国際交流や学生の修学支援等に資する基金の開設とともに作業部会が活動を開始しております。卒業生・修了生は、令和4年9月で7,834名となり、海運・海事産業、情報、機械など、我が国の産業界に技術者を輩出し、多くの産業の発展に活躍しています。

本校の尖った2学科を取り巻く産業の状況について触れます。まず、海運や物流産業の様相は、常に国際政治や経済社会の縮図です。新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延がSDGsの実現に至る超スマート社会（Society5.0）への変革を加速して、社会経済は、気候変動と環境変化、国際社会が織りなす紛争などの影響を受けて大きく変動しています。これらの変化は、情報通信はもとよ

り、海運、物流、ロジスティクスに対する人々の関心を大きく高めました。海運・海事産業は、総合物流産業、社会インフラ事業に展開しており、人材として求められる能力も船上のみならず、先進技術の展開や海運にかかる総合的スキルを活かしたマネジメント力まで変化しています。

また、情報や機械システム産業はもとより、あらゆる産業でデジタルトランスフォーメーション（DX）が着実に進みつつあり、地域と都市の双方の豊かさを調和させるデジタル田園都市国家構想が内閣府により提唱されています。私たちはWell-beingをひたすら追求する社会のひとつの段階に至ったといえます。便利になった反面、情報を適切に管理、利活用できて、共有するシステムをもっているか否か、もっていても有効に組織内で機能しているか、環境の大きな格差が生じており、教育の現場においても例外ではありません。一方では、対面でのコミュニケーションの重要性も再認識されました。便利さとともに、おさまらなければならないエシックス（倫理）の問題もあらためて社会で顕在化しています。

新型コロナウイルスによる感染症との闘いは続いており、一人ひとりが、科学的に思考し、感染のリスクを減らす効果的な行動を引き続き心がける必要があります。たとえば、マスク会食とは、食事中いつもマスクをはずして良いということではないことは明白です。

海洋基本法にもとづき5年ごとに策定される海洋基本計画、来る第4期では、脱炭素・DXに対応した海洋産業の競争力強化、ゼロエミッション船の導入、カーボンニュートラルポートの形成、また、自律運航船の実用化や港湾の電子化、さらには、洋上風力発電など再生エネルギーの利活

用、資源探査に必要な水中ロボットの持続的な開発などに社会の関心が集まっています。本校では、「人づくりを通じて海づくり・海事・海洋DX、情報や機械のシステム産業と地域経済に貢献するマリリンゾート・コアキャンパスの創成（令和3年8月校長より法人に提出）」に向けて、練習船「新鳥羽丸」と浮き棧橋の整備充実の構想、施設・環境整備にかかるキャンパスマスタープラン（CMP）の構成、混住型国際寮の検討などを進めており、創基150年を迎える2025年を新たな起点とし世代や国境を越えたキャンパス、自然災害にもレジリエントなキャンパスの整備に努めていきます。

これからの人材育成や教育研究の推進に資するべく鳥羽商船高専連携協力が設立されており、産学官金連携の大きな推進力となっています。

事業経費導入の点では、国の「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」に採択、さらには令和4年度に「GEAR50 未来技術の社会実装教育の高度化（採択分野・農林水産）」から「つくる」へ農林水産のDX推進プロジェクト」に採択、全国高専の中核拠点校として体制構築が進められています。教育面では、従来からの海事人材育成の取り組みに加えて、外航・内航船員・海技者として、また情報機械システム産業を担うにふさわしい英語の語学力の向上をめざしてさらなる取り組みを進めます。

AIやIoTなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれず、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育

<https://www.youtube.com/watch?v=gMkY3H2qEMs>



鳥羽商船高等専門学校 学生会 鳥羽丸PV
～鳥羽丸のすべて～ 2021年12月5日に
開催された第56回海学祭にて配信

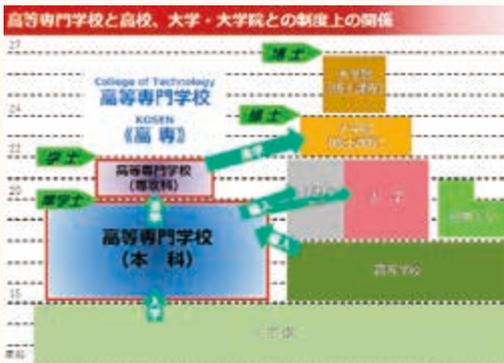
<https://www.toba-cmt.ac.jp/kyouryokukai/>



鳥羽商船高専産学連携協力会

※人事
令和4年4月1日より
副校長と校長補佐を以下としました。

- 副校長（総務・教務担当）
教務主事 伊藤（友）教授
- 副校長（学生支援・厚生補導担当）
学生主事 坂牧教授
- 副校長（寮務・国際担当）
寮務主事 橋爪教授
- 校長補佐（研究・産学・地域連携担当）
研究主事 江崎教授
- 校長補佐（サイバーセキュリティ担当）
情報メディア教育センター長 白石教授



成、STEAM (Science, Technology, Engineering, Mathematics, Arts) 教育が求められています。本校は皇學館大學と包括連携するとともに、教員と学生を地元の小中学校に派遣して出前授業などを行っています。また、練習船「鳥羽丸」の代船建造や浮き棧橋の整備を契機に、地域とのさらなる共創をめざして三重県と包括連携協定を締結したところであります。これからも、人と社会の Wellbeing に資する、「地域と世界の両方で活躍する、科学的思考を身に着けた高度の技術者の育成」に注力していきます。このためには、三重県内にとどまらず、ひろく国内外からの入学、留学に対応する必要があります。教育と修養の場である学生寮「暁寮」に国際寮（多文化交流生活寮）の整備は必要不可欠です。

令和4年度は、対面とオンラインの効用を活用しながら、保護者懇談会、奨学後援会総会、高専体育大会、漕艇大会などが次々と学校行事が開催実施されています。学生会・海学祭・鳥羽丸実行委員会製作の鳥羽丸PVもリリースされています。どうか益々の本校学生と教職員の活動へのご理解とご支援をお願い致します。

進取・礼讓・質実剛健を理念とする本校入学式では、他人を思いやり、志をたて進むよう話をしています。温かくも特徴ある、尖った一面をもつ高専として、SDGs のための Society5.0 の超スマート社会への変革を意識し、物流のグローバルバリエーションやIoTの浸透により進化する情報と機械がおりなす産業社会で活躍する、海洋立国を支える国際感覚を身につけたグローバルに活躍できる人材、海上輸送を支える高度な技術を習得した海事技術者、海士資格を有した優秀な海の大スペシャリスト、地域産業の創出や地域社会の持続可能な未来にも貢献できる実践的産業人材の育成を進めます。

情報機械システム工学科 准教授

児玉 謙司

情報機械システム工学科に着任しました。150年の歴史と伝統を誇る学校で共に切磋琢磨できること、光栄に思います。約25年前、高専に入学しました。

純然たる男子学級でした。古文の授業では、恋愛の和歌の解説に皆狼狽。

音楽の時間では、コロナでもないのに窓を開けると先生は毎回絶叫。他、詳細は授業の合間に。

つまり、学問を修めるといふことは大変険しい道なのであるということ。学生の皆様には、友と笑いながら、技術革新の荒波をサーファーのように乗りこなす技術者に成長して頂きたいと思えます。

一般教育科 助教 朴 佳南

この度、一般教育科の助教として赴任いたしました朴佳南です。

担当科目は数学です。非線形の方程式である（離散）パウルヴェエ方程式について研究をしています。

学部は教育学部でした。そこで学び得た経験を活かし、丁寧な指導を心がけますので、どうぞよろしくお願いいたします。

寮監 川端 幸夫

今年度、暁寮寮監に採用となりまして、川端幸夫です。出身は三重県伊勢市で、今年の3月まで伊勢市の消防職員でした。

私にとって寮監として学生の成長を見守ることは大変光栄なことであり、伝統ある鳥羽商船で勤務できることを誇りに思っています。

私には教育現場での経験はありませんが、前職の経験を生かして学生が安心安全な寮生活を送れるよう、全力でサポートしたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いたします。

事務部長 小林 正幸

このたび事務部長に着任しました小林正幸です。どうぞよろしくお願いたします。

出身は、福井県です。よって、特技は福井弁を話すことです。高専勤務は、石川高専、富山高専、福井高専に次いで4校目になります。東海地方は初めてです。暖かくて過ごしやすですが、思っていたより雨が多感に感じました。

短いお付き合いとなりますが、今後とも組織マネジメント力を鍛えて、私なりに努めてまいりますので、皆様の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

総務課課長補佐 前田 剛

5月1日に総務課総務課長補佐に配属になりました前田剛と申します。よろしくお願いたします。さて、鳥羽商船は目の前に伊勢湾が広がっていますが、海だけではなく、学校の近くには朝熊山があり、朝熊山登山を気楽に行けるんです。しかも、鳥羽側の山道は、そこそこ険しいので気楽に非現実的な冒険が楽しめます。山に慣れていない人は、朝熊、神宮側がすごく整備されていますので、そちら側がおすすです。山好きな方は一度挑戦してください。

調達係長 喜多村 勝代

令和4年4月1日付で総務課調達係長として赴任しました喜多村と申します。

3月まで三重大学で勤務してました。鳥羽商船への赴任は2回目、前は、平成15年から3年間、当時の人事係で勤務していました。ちょうど国から独立行政法人に移行する時期でした。大変だったはずですが、なぜか苦勞した記憶がありません。長い間国立学校の事務職員として働いていますが、調達の仕事は初めてです。何卒よろしくお願いたします。

人事労務係主任 堀川 洋平

本年4月1日付で総務課人事労務係に赴任いたしました堀川と申します。

出身は志摩市で民間企業経験後、3月までは三重大学で勤務しており、学務系や契約担当にて病院医療機器等の調達業務を行っていました。

大学と高専との違いや、高専ならではの良さを感じ毎日刺激のある日々を送らせていただいております。

微力ではございますがご支援をさせていただきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

財務・経理係員 増井 康太

今年度4月1日付で総務課・財務・経理係に採用された増井康太と申します。

出身は日本三大喧嘩祭りとして有名なだんじり祭りのある大阪府岸和田市です。昨年度の3月まで大阪市内の公立学校で事務職員として働いていました。

現在は、財務・経理係所属のため教員や学生の皆様と関わる機会が少いと思えますが鳥羽商船高専のために尽力していきたいと考えていますのでご指導宜しくお願い致します。

◆◆◆ 新任教職員紹介 ◆◆◆

商船学科の紹介

商船学科長 窪田 祥朗

商船学科は、三級海技士の第一種養成施設として、航海士、機関士といった船舶職員を養成する学科です。三級海技士（機関）の第一種養成施設は、東京海洋大学、神戸大学、海技大学校、海上保安大学校、水産大学校と本校を含む5高専だけです。

本校に入学した商船学科の学生は、士官候補生であることを肝に銘じて、日々精進してもらいたいと思います。商船学科は、他の商船系高専と協働で海洋人材の育成に関するプロジェクトを推し進めています。これは、商船学科の学生が船社へ入社後に必要な技能を着実に身につけてもらい、海事技術者として有用な人材になってもらうことを目的としています。プロジェクトでは、グローバル力向上、技術革新に対応した教材開発、キャリア教育の実施、業界関係者との意見交換を基軸に事業を展開しています。グローバル力向上については本校が主担当で、2号館2階のグローバル教育拠点にて商船系高専5校を繋いだオンライン英語講座を開講しています。ぜひ、英会話力UP、TOEICスコアUPのために利用してください。

令和6年度末には新しい練習船が誕生する予定です。現在、新しい練習船を建造するための準備を急ピッチで進めています。現在の鳥羽丸に比べ全長は約1・5倍と大型化し、情報統合型ブリッジを採用するとともに、太平洋を航行するための減揺装置や研究観測機器を装備するなど最新機器を導入予定です。また、推進方式は、ディーゼルエンジンによる機械推進だけでなく、電動機による電気推進も備わります。全学で利用しますので、是非研究などで活用してもらえればと思っています。商船学科の学生は、実習に利用するとともに活きた教材として大いに活用してください。



情報機械システム工学科の紹介

情報機械システム工学科長 出江 幸重

情報機械システム工学科は、電子機械工学科（定員40名）と制御情報工学科（定員40名）の2学科から学科改組により2019年4月に誕生しました。定員80名大括りの1学科2クラスとして学生を受け入れ、来年度で完成年度となります。情報機械システム工学科はいくつかの特徴を持っていますが、その中の一つが1～5年生までが参加するPBL（Project Based Learning）教育です。PBLは「問題解決型学習」や「課題解決型学習」などと訳される勉強方法であり、学生が自ら問題を見つけ、その問題を自ら解決する能力を身に付ける学習法のことです。

情報機械システム工学科では1年生後期から5年生までPBLという授業があります。1～2学年では、主としてある程度定められた問題設定でのPBLを実施したり、PBLを行うための基礎技術（電気・機械設計、マイコンプログラム等）の習得を行います。3～5年生のPBLでは基本的に縦割り班でのプロジェクト活動を行っています。3年生以上では、「学外コンテスト出場」または「地域貢献PBL」を原則必須としています。テーマの中には農業や水産に関するもの、地域の活性化につながる取り組み、企業で実施に活用できるシステム構築等、多岐にわたります。専攻科の特別研究や5年生の卒業研究とリンクした内容もあります。これらの活動を通じて学生たちは、チームとして問題を解決するための知識や技術を身に付けられるように取り組んでいます。



一般教育科の紹介

一般教育科長 西川 雅堂

高等専門学校での教育は、高度な専門知識と技術を身に着けた技術者を養成することを目的としています。そこで一般教育科の教育課程は、技術者としての基本的な資質を身に着けるとともに、専門科目の土台となる基礎学力を身につけさせるため、人文・社会系科目、自然科学系科目、外国語、保健体育や芸術といった基礎科目を通じて高等学校から大学の教養課程のレベルまで5年間で履修します。

また、一般教育科でのキャリア教育として「一般基礎教育」を1・2年生で設置しています。1年生では高専での学修活動に向けたオリエンテーションや中学校の内容の復習なども計画されています。さらにはコミュニケーション能力の向上や現代人としての視野を広めるため、外部講師を呼んで様々な講演を開催しています。今年度は次におけるような講演が企画されています。「ライフプランを考える」(日本FP協会)、「日本国憲法と弁護士の仕事」(三重県弁護士会)、「性教育」、「スマホ・ケータイ安全教室」(KDDI)、「金融リテラシー講座」(百五銀行)、「デートDV防止啓発講座」(鳥羽市子育て支援室)など。

一般教育科では数学科において榎本先生が他高専に異動され、新たに朴先生が赴任されました。新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。一般教育科の教員総勢15名(再雇用1名含)で学生の皆さんの充実した学校生活をサポートしていきます。学生の皆さんには、未来の技術者として、何を求められているかを考えながら学習してください。また本校での学びの環境を存分に生かしていただきたいと思っています。



ニコルソン先生による英語授業

専攻科の紹介

専攻科長 林 浩一

高等専門学校の本科を卒業した後の進学先の一つとして、専攻科があります。本校の専攻科には、商船学を学ぶ海事システム学専攻と、情報工学、電気電子工学、機械工学を学ぶ生産システム工学専攻の、二つの専攻が設けられており、海事システム学専攻は商船学科の卒業生、生産システム工学専攻は主に工業系学科の卒業生を受け入れています。両専攻ともに2年間の課程を修了し、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格することで、大学卒業者と同じく学士の学位を取得することができます。そのため専攻科は、本科生の進学先として大学編入学とよく比較されます。専攻科も大学も、本科で学んだことよりも更に広く深い知識や技術を学ぶことに変わりはありませんが、専攻科では1年生からの2年間、本科で行う卒業研究を含めると連続して3年間研究室に所属し、研究に取り組めることが大きな特徴として挙げられます。またその間専攻科の学生は、研究室に所属する本科学士のリーダーとしての役割も期待されており、大学生よりも一足早く、様々な経験を得る機会があります。今年度の専攻科は、これまでに両専攻においていくつかの研究発表会を開催してきました。いずれも多くの教職員が聴講する中で専攻科学生が自分の研究成果について発表を行うとともに、活発な質疑応答や意見交換があり、有意義な発表会となりました。



商船学科 機関コースの 就職・進学状況について

商船学科長兼機関コース主任

窪田 祥朗

令和4年9月の商船学科機関コースの卒業生は20名で、進路は進学が5名、就職が15名でした。就職は、海上就職が13名、陸上就職が2名となっています。今年度の卒業生は進学希望が多く、進学から就職へ切り替えた学生もいました。就職に関しては、ほぼ第一希望の会社へ就職しており、第一希望が叶わなかったとしてもほとんどの学生が第二希望に就職しています。

就職活動は、4年生の3月から本格的に始まりますが、それまでに希望する職種、会社を絞り込むことが重要です。キャリアデザインの授業で「仕事」に対する意識を高め、希望する進路に進めるように準備していただくさい。また、4年生の夏休みにはインターシップへ参加して、希望する会社の方々に自身の魅力をアピールしておくことも大事です。インターシップや会社訪問をすることで、人事担当者や働いている方々への印象が良くなります。ぜひ、行動してください。

商船学科 航海コースの 就職・進学状況について

商船学科航海コース主任

鈴木 治

令和5年9月卒業予定の商船学科5年生の就職活動は、練習船「日本丸」乗船中の4年生2月、複数の企業のWebによる会社説明会から始まりました。

感染症対応のため乗船実習は3月下旬までとなり、短い春休み中の会社訪問等を経て、新学期、採用試験と続きました。結果、進学が3割、7割が就職となっています。なお、インターシップは、これまでとは形態を変えて再開されるようになっていきます。

コロナ禍でWeb会議システム(Teams, Zoom等)を利用する機会も増えていますが、会社からの連絡は電子メールや学生への直接の携帯電話で行われます。

今年の学生は、履歴書の書き方や会社との連絡など、一般的な「コミュニケーション」能力が必要な場面で苦勞しています。携帯電話・電子メールを使って、初対面の相手とどのように意思疎通を行うか、十分に使いこなした上で就職活動に臨むことが必要でしょう。

電子機械工学科の 就職・進学状況について

電子機械工学科長

山下 晃司

今年度の電子機械工学科5年生は44名です。このうち、6名が単位を修得して9月に卒業した学生であり、4名が10月に入社、1名が来年の4月に入社が内定しています。また、現在1名は就職活動中です。来年3月卒業予定の学生38名のうち、5名が進学を、33名が就職を希望し、それぞれの進路に向けて活動を行ってきました。進学希望者のうち、豊橋技術科学大学が2名、本校専攻科が1名、専門学校が1名の進路が決まっており、1名が現在も活動中です。また、就職希望者のうち、3名が県内に、28名が県外への就職が決まっており、11月末の現在で2名が学校推薦で就職活動中です。

本年度の就職は、企業の募集意欲は旺盛ですが、企業と学生希望とのマッチングを厳しく見る傾向が強くなっています。また、学生の希望としては、電気・ガス・水道や鉄道や公共施設関連の製造・管理企業など、インフラ関連企業への希望が多くなっています。これは、3年来のコロナ事態の影響もあり、安定した企業を希望するとともに、人々の生活を支えることの大切さを強く実感したことによると思われる。

自分の将来像を明確にして進路を決定するには、社会状況の変化に気を配るとともに、自分の興味ややりがいや深く見つめることが必要です。そのために、授業や課外活動、地域社会への参加など、日々の滑動に真摯に向き合い、実際に行動して自分と社会に対する理解を深めていってほしいと思います。

制御情報工学科の 就職・進学状況について

制御情報工学科長

溝口 卓哉

制御情報工学科5年生は43名が在籍し、就職希望者が29名(内女10)、進学希望者が14名(内女1)です。10月末現在で、40名(就職27、進学13)の進路が確定しています。就職先が県内(またはその可能性が大)の学生は5名(内女2)で、昨年度(11名(内女8))と比べて少なくなっています。進学先の内訳は、大学が7名(豊橋技科大4、長岡技科大2、モンゴル国立科学技術大1)、本校専攻科が6名となっています。

就職では、1社目の受験での合格者が18名、就職先決定時期は2月1名、3月2名、4月14名、5月2名、6月3名、7月4名、9月1名となり、約6割の学生の就職先が4月までに決定しています。各企業の採用試験の開始時期も早くなってきていて、それに対応した準備も必要になってきていると考えられます。



専攻科の進路について

専攻科長

林 浩一

本校の海事システム学専攻は、9月に1名の学生が修了し、希望する海運会社に就職しました。また生産システム工学専攻は、現時点で6名の学生が、それぞれが学んできたことを生かすことができる、家電メーカーや生産設備メーカー等の企業から内定をいただいています。

一方で就職活動を控えた生産システム工学専攻の1年生は、多くの学生が夏季インターンシップに参加し、その内容を発表会で紹介しました。インターンシップに関してはコロナ禍の影響もあり、オンライン開催や中止とする企業もあり、希望する企業に行くことができなかった学生もいたようです。夏に続き、秋・冬のインターンシップへの積極的な参加を呼びかけていくことを考えています。



令和4年3月及び令和4年9・10月卒業生進路先一覧（順不同） 令和4年10月31日現在

商船学科

- 就職先 ショクユタンカー(株)、共栄マリン(株)、中央海運(株)、第一中央内航(株)、ENEOSオーシャン(株)、イーグルシップマネージメント(株)、東京汽船(株)、井本商運(株)、川崎汽船(株)、鹿児島船舶(株)、上野トランステック(株)、日本郵船(株)、オフショア・エンジニアリング(株)、ECLエージェンシー(株)、大栄汽船(株)、日本クルーズ客船(株)、(株)辰巳商会、津軽海峡フェリー(株)、(株)前川製作所、NSユナイテッド海運(株)、コスモ海運(株)、如月汽船(株)、イイノガストランスポート(株)、協同海運(株)、内海曳船(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、東京海洋大学海洋工学部、神戸大学海洋政策科学部

電子機械工学科

- 就職先 (株)メンバーズ、(株)トノックス、旭ダイヤモンド工業(株)、東海旅客鉄道(株)、旭電器工業(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、東海交通機械(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、パナソニック(株)ライフソリューションズ社、パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)、廣瀬精工(株)、ダイキン工業(株)、(株)タマディック、ムラテックCCS(株)、ニプロファーマ(株)、ダイキンエアテクノ(株)、(株)高津製作所、富士ソフト(株)、(株)UL Japan、万能工業(株)、関西電力(株)、(株)きんでん、アイリスオーヤマ(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、愛知機械工業(株)、奥地建産(株)、関西保温工業(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、山口東京理科大学

制御情報工学科

- 就職先 (株)メンバーズ、東海旅客鉄道(株)、旭電器工業(株)、ニプロファーマ(株)、ダイキンエアテクノ(株)、アイリスオーヤマ(株)、(株)LIXIL、(株)NTTフィールドテクノ、盛徳海運建設(株)、(株)エクシオモバイル、メタウォーター(株)、クオリティソフト(株)、エイジェックグループ、サントリースピリッツ(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)、ムラテック販売(株)、旭タンカー(株)、(株)アイ・シー・エス、(株)百五銀行、CTCテクノロジー(株)、(株)ファインディックス、(株)FIXER、(株)ユーテック、シンフォニアエンジニアリング(株)、(株)ファインディックスソリューション、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、万協製薬(株)、(株)ZTV、美和ロック(株)、エース設計産業(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、京都工芸繊維大学

令和4年3月及び令和4年9月専攻科修了生進路先一覧（順不同） 令和4年9月30日現在

海事システム学専攻

- 就職先 NX海運(株)

生産システム工学専攻

- 就職先 (株)UL Japan、(株)日立ビルシステム、第一工業製薬(株)、(株)ハイマックス、富士通クラウドテクノロジー(株)、(株)エヌ・ティ・ティ ネット、キャノンシステムアンドサポート(株)、(株)ネオジャパン、パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー

インターンシップ先 企業一覧（順不同） 令和4年9月30日現在

商船学科

- ENEOSオーシャン(株)、日本郵船(株)、川崎汽船(株)、(株)商船三井

専攻科（生産システム工学専攻）

- ソフトバンク(株)、旭化成(株)、東京ガスネットワーク(株)、サントリーホールディングス(株)、(株)イシダ、京セラコミュニケーションシステム(株)、日立ビルシステム、ENEOS(株)、国際ケーブル・シップ(株)、日本車輻製造(株)、サグリ(株)、NECネットエスアイ(株)

情報機械システム工学科

- Daigasグループ、NECファシリティーズ(株)、村田機械(株)、アイリスオーヤマ(株)、(株)クボタ 枚方製造所、(株)エヌ・ティ・ティ・ロジスコインフォメーションサービス、池上通信機(株)、(株)タマディック、花王(株)和歌山工場、旭化成(株)、キクカウエンタープライズ(株)、(株)スターシステム、フジテック(株)、メタウォーター(株)、ザイマックスグループ、三菱電機ビルソリューションズ(株)、美和ロック(株)、トーテックアメニティ(株)、(株)jig.jp、(株)村田製作所 八日市事業所、(株)トノックス、(株)百五銀行、(株)ハイマックス、(株)UL Japan、日本オーチス・エレベータ(株)、関西電力送配電(株) 東海電力本部、ムラテックCCS (株)、中部電力(株)、(株)アイエスイー、富士電機(株)、(株)NTT-ME、(株)メンバーズ、第一工業製薬(株)、コニカミノルタジャパン(株)、京セラコミュニケーションシステム(株)、CTCテクノロジー(株)、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)、東芝インフラシステムズ(株)、ダイキン工業(株)、スズキ(株)、オークマ(株)、(株)NTTフィールドテクノ、キャノンマーケティングジャパン(株)、(株)ニコン、ENEOS(株)、大日精化工業(株)、(株)FIXER、アイニング(株)、日本放送協会 (NHK)、キリンビバレッジ(株)、東海旅客鉄道(株)、富士フィルムビジネスイノベーション(株)、豊橋技術科学大学

学生の活躍

AIビジネス創出アイデアコンテスト 2022で会長賞受賞

制御情報工学科5年

西山 琳

2021年12月から2月にかけて行われたAIビジネス創出アイデアコンテスト2022において「野菜のサステイナブルスマート農業」というシステムを提案し、二位相当の「人工知能技術コンソーシアム会長賞」を受賞しました。AIを使用した野菜の需要予測や店頭での在庫管理、消費者に向けたアプリの提供で生産者・販売者・消費者の悩みを解消し持続可能な農業の実現を目的としています。

需要の高いサービスを考えるだけでなく経営者目線でお金や顧客の流れを理解することはとても難しく締切日までミーティングを重ねました。また自身が主体となって参加するコンテストは初めてでしたが、私を支えてくれたチームメンバーには大変感謝しています。



「DCCON2022」で第6位と 企業賞受賞

制御情報工学科5年

栗田 ちはる

私たちは4月28・29日に開催された「DCCON2022」で定置網漁師を支援する作品「se-net」について発表し、第6位と企業賞を受賞しました。DCCONは、技術審査とビジネスプレゼンにより、企業評価額を算出し順位が決定します。本番では企業評価額3億円の評価をいただきました。

ビジネスプランなど初めて考えることが沢山あり、楽しみながら取り組むことができました。本番までに何度も現場へ行き、定置網漁を体験したり、漁師さんにヒアリングを行い、進めていきました。

これから継続して取り組み、水産業を盛り上げていきたいです。応援してください。ありがとうございました。



高専ワイヤレスIoTコンテスト 2021を通して

制御情報工学科5年

井上 仁

私たちは高専ワイヤレスIoTコンテスト2021において、地元のカキ養殖を支援するシステムを提案し、1年間にわたって開発・実証を行いました。このシステムは、地元企業と開発した海洋観測機から養殖場所の海象データを計測することで、カキの状態を推測し、LINE BotやWebサイトによって、養殖業者の方々にカキが危険な状態になっていることを知らせます。また、過去の海象データをグラフ化し、研究者などが分析を行うことでよりよい養殖環境が作られていくと考えています。本コンテストでは、私たちの提案したシステムが海洋SDGs大賞を受賞しました。今後も地元の水産業の手助けとなるようなシステムを開発し、課題解決や環境改善などに取り組んでいきたいです。



全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法 競技大会の振り返りと今後

情報機械システム工学科3年

西井 峻人

私たち少林寺拳法部は7月28日から31日にかけて高知県に赴き、全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会に出場しました。入賞は逃し、残念な結果になってしまいました。入賞を志し、日頃から先輩方や顧問の先生にご指導ご鞭撻を賜り、チームで築き上げた成果を遺憾なく大会で発揮できた経験は、部活動のみならず今後の人生の展望において非常に有用な材料になると感じています。これもすべて、私たちが大会に出場するまで支えてくださった皆様のおかげです。次は私たちが後輩たちに受け継がせる番です。全ての関係者に対する恩返しのため、今後は本校の少林寺拳法部の活性化に努めます。



漕艇大会で優勝

商船学科航海コース3年

西川 蘭丸

この度の第57回全国商船高等専門学校の漕艇大会では他の商船との激闘の末、優勝することが出来ました。本校で開催された大会で優勝できたことは本当に嬉しい限りです。

日々の練習はとて大変で何度か心が折れそうになることもありましたが、互いに支えあつてつらい練習を乗り越えることでチームに一体感が生まれ、始めはバラバラだったチームも大会前には凄くいいチームになっていたと思います。練習の際にもみんなの勝ちたいという思いが強く何度か衝突することもありましたが、そのたびに話し合い解決していくことで徐々にチームとしての団結力が高まっていき、結果として優勝に繋がったのだと感じました。



大会の運営に協力してくださった方々、そして応援して下さいました。方々に改めて感謝申し上げます。今後とも応援のほど宜しくお願い致します。

気象観測機器コンテストで 特別賞受賞

制御情報工学科5年

坂本龍太郎

私達は大幅に縮小された植物季節観測の省力化・継続を目的としたシステム『四季探偵A I - アイ』を開発し、2021年12月20日に開催された第10回気象観測機器コンテストで特別賞佐々木嘉和賞を受賞しました。

『四季探偵A I - アイ』は対象の植物が撮影できる位置に定点カメラを設置し、定期的に自動撮影と気象情報の取得を行います。撮影された画像から学習済みA I が植物の開花などを判別し、ユーザーにLINEで通知します。観測手法を肉眼から定点カメラとA I に置き換えることで少人数の観測を容易にし、継続を可能にします。

コロナ禍ということもあり、夏休みに集まって作業することができなくて大変でしたが、オンラインでの情報共有を意識しメンバーと協力して完成させることができました。この経験になりました。

また、同研究室の『クラウドちゃん』は特別賞衛生賞を受賞しました。



ロボコンに参加して

情報機械システム工学科4年

北川 大雅

私はロボコンに携わって4年目になります。今年はBチームのチームリーダーを務めさせていただきました。今年のテーマは、「ミラクル☆フライ」です。各チームが自作した紙飛行機をロボットが飛ばし、フィールド内の机に乗せたり、筒に入れることで得られる得点を競います。ここ二年はコロナ禍による影響でオンライン開催でしたが、今回は三年ぶりに現地開催でのロボコンとなりました。

私たちは、大きくアームを振りかぶって紙飛行機を投げる、ダイナミックな機構を持つロボットをコンセプトとして制作し、挑みました。結果としては、デザイン賞とセメダインさん協賛の特別賞を頂くことが出来ました。

全国大会出場は叶いませんでしたが、自分たちのアイデアや機構が審査員の方々に大変良い評価頂くことができてよかったですと感じています。

この結果は、高学年から低学年まで、今回のロボコンに携わったチーム全員が努力したからだと思いを張って言えます。未熟な私についてきてくれたチーム全員に感謝したいです。



プログラミングコンテストの 振り返りと今後

情報機械システム工学科4年

中川 一路

私たちは全国高等専門学校プログラミングコンテスト第33回群馬大会の課題部門において、特別賞を受賞しました。「オンラインで生み出す新しい楽しみ」のテーマに対して、鳥羽商船男子バレーボール部の選手の配置をオンライン上で全国のバレーボール愛好家に考えてもらい、その意見を集約して選手に提供するシステムを作成しました。このシステムを作成するために、男子バレーボール部にデータ収集の面でたくさん協力してもらいました。特に5・6月は部活終わりにほぼ毎日手伝ってもらいました。そのような協力があつたからこそ、今回の賞を受賞できました。今回の大会で得た経験を活かし、今後の研究活動に励んでいきたいです。



第57回全国高等専門学校体育大会 大会水泳競技大会について

商船学科1年

野中 亜耶

兄と姉に憧れ4歳で水泳を始めました。泳ぐことが好きで入学する前から水泳部に入ると決めていました。鳥羽商船の水泳部は、練習メニューなどはなく自由に泳ぐことができます。

東海大会では一位でも、全国大会では入賞はできたものの7位と、応援してくださった皆さんには良い結果を届けることは出来ませんでした。全国の雰囲気味わうことができませんでした。水泳部の皆さんへ、来年の全国大会は長野県です。一緒に、遊びに行きましょう。

最後になりましたが応援してください。来年の全国大会ではもっとリラックスして臨み、表彰台に上られるように頑張ります。



東海地区 高専体育大会

競技	種目	順位	学生	全国大会
柔道	男子個人戦(66kg級)	準優勝	SN3 渡邊 剛	
	男子個人戦(66kg級)	3位	M5 潮田 剛	
ソフトテニス	女子団体	3位	J4B 井坂 美緒 J2B 向井 加奈美	
			J2A 松下 実穂 SN4 久保 綾菜	
			J1B 奥村 心暖 J1B 内田 絢菜	
剣道	女子団体	準優勝	I5 中川 碧海 SE3 山口 なづな	
バドミントン	男子団体	準優勝	M5 本田 健斗 I5 森田 慶	
			J4A 三鬼 将磨 J4A 中川 一路	
	男子個人ダブルス	3位	M5 本田 健斗 I5 森田 慶	
水泳	男子200m背泳ぎ	準優勝	SE4 松本 幹太	全国大会出場
	女子100mバタフライ	優勝	S1 野中 亜耶	全国大会出場
	男子200m自由形	3位	S1 戎居 靖人	
	女子100m平泳ぎ	準優勝	S1 野中 亜耶	

高専体育大会以外の大会

競技・大会名	成績等	学生
令和4年度 全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技大会	男子団体演武 出場	J2A 野邊 優一郎 J2A 長崎 玄武
		J2B 前田 遥 J3A 西井 峻人
		J3B 水谷 怜慈 J3B 山下 惺太
	男子組演武の部 出場	J2A 鈴木 奏羽
		J3B 水谷 怜慈 J3A 西井 峻人
		J2A 鈴木 奏羽 J2B 前田 遥
第57回全国商船高等専門学校漕艇大会	優勝	J2A 大西 成美 S2 久野 悠寿
		SE3 小川 竜馬 S2 橋詰 煌貴
		S2 中井 新太 S2 加藤 春輝
		S2 中井 一哲 J2A 北仲 一登
		SN3 田淵 風翔 SE3 小林 太紀
		S2 出口 禎朗 J2A 西 權寿
		SN3 西川 蘭丸 SN3 藤井 陽士

コンテスト実績一覧

アイデア対決・全国高等専門学校
ロボットコンテスト2022 東海北陸地区大会
参考: <https://official-robotcon.com/kosen/>

結果	備考
デザイン賞 特別賞(セメダイン株式会社)	Bチーム

Wi CON 2021 (高専ワイヤレスIoTコンテスト)
参考: <https://kosen-iot-contest.jp/2021/result>

結果	備考
海洋SDGs賞	

Wi CON 2022 (高専ワイヤレスIoTコンテスト)
参考: <https://kosen-iot-contest.jp/2022/saitaku-1-1>

結果	備考
採択(2件) 3月成果報告予定	電波利用システム活用部門

第33回全国高専プログラミングコンテスト
参考: <https://www.procon.gr.jp/wp-content/uploads/2022/10/3019b231c505b23846a1ee52a6bdf0b.pdf>

結果	備考
特別賞 敢闘賞	課題部門
敢闘賞	自由部門

D CON 2022 (第3回全国高等専門学校
ディープラーニングコンテスト2022)
参考: <https://dcon.ai/2022/final-result/>

結果	備考
本選結果 6位 QUICK賞	企業評価額...3億円 投資額.....6,000万円

パソコン甲子園2022
参考: <https://pckoshien.u-aizu.ac.jp/final/#result>

結果	備考
ベストアイデア賞	モバイル部門

インターンシップ

就職活動に向けて

商船学科機関コース5年

猪尾 武弘

私は昨年9月3日から10日までの7日間、福寿船舶にインターンシップに行きました。インターンシップで一番大切なことは、とりあえず、元気に笑顔で接することだと思います。

私はインターンシップでお世話になった会社に内定しました。就職活動では、主に学校の成績や海技士、TOEICの点数などが重要視されますが、私の感覚としてはその人の性格や内面が良く見られている気がします。確かに資格や成績は大切ですが、会社としては、入社してから社員のみなさんと船という閉鎖空間の中で仲良く出来る人を欲しがっていると思います。採用試験の面接では主に履歴書を見られますが、自分の個性や内面を出すには難しいと思います。その点インターンシップでは5日から10日間と時間がたっぷりあるので、自分を出せる時間がたくさんあります。ですから、インターンシップを実施している会社で、自身に興味がある会社があるならば、是非行くべきです。無かったとしても就職活動をいち早く始めることが出来るので、インターンシップには参加してみると良いでしょう。

インターンシップに参加して

情報機械システム工学科4年

奥村 貴哉

8月22日から26日までの5日間、エレベータやエスカレータを専門に扱うフジテック株式会社のインターンシップに参加させて頂きました。数ある企業の中からフジテックさんを選んだ理由は2つあり、実際に働くという漠然としたイメージを具現化するため、そしてエレベータやエスカレータの構造に興味を持っていたためです。

期間中は、私が知りたかった構造についての講義や、使用されている部品の紹介、そして今回のメインでもある実際のメンテナンス作業を体験させて頂くなど、沢山の経験をさせて頂きました。また、他高専の学生と会話する機会もあり、様々な知識を得ることが出来ました。

5日間で学んだことを、これからの進路決定に活かしていきます。



吹奏楽部の紹介

情報機械システム工学科3年

中村 謙介

私たち吹奏楽部は現在24名で活動しています。活動内容は学内外での演奏会が中心です。残念なことに、コロナの影響で思うように活動が出来ていません。でも、日々個人や少人数で練習しています。今年の海学祭では何とか演奏会が出来ました。

10月1日(土)にはマリナー河芸で行われた「海のバリアフリーまつり」のイベントとして、四日市農芸高校吹奏楽部の演奏会に参加しました。コロナウイルスの影響で演奏会ができていなかった私たちにとって貴重な時間でした。人前で演奏する楽しさや緊張感、全員で1つの音楽を奏でる達成感など、再度実感することのできた場でした。演奏を聴いていただいた方々、招待してくださった農芸の吹奏楽部の皆さんにはとても感謝しています。

図書館改修に伴い、練習環境も劣悪にはなりましたが、今後も多くの方々に私たちの演奏を聴いていただけるよう練習を重ねます。



クラブ紹介

ソフトテニス部の紹介

商船学科航海コース3年

渡邊 源

現在、ソフトテニス部は、1年生12名、2年生14名、3年生6名、4年生13名、5年生7名、専攻科生1名の計53名が所属しています。この中には、中学時代からソフトテニスに慣れ親しんだ部員もいれば、高専に入学後、1から始めた部員も多々います。最近では、女子部員も増えてきて、念願の女子団体戦出場も果たすことが出来ました。部員は、学年問わず仲が良く、すぐに馴染める部活だと思います。活動日は、月・土曜日で月、金の2日は自主練です。活動時間は基本16時〜18時です。年間の中で、7月に行われる高等専門学校体育大会(高専大会)を中心に高体連の試合などにも参加しています。

普段の部活は、1日1つは何かしら得られるように一人一人が熱心に取り組んでいます。

少しでも興味がある方は、テニスコートによってみてください！



(写真上：自主練日のコート)
(写真下：高専大会後の集合写真)

乗船実習

『日本丸』での乗船実習

商船学科航海コース5年

寺本 秋水
川上 僚介

日本丸での実習の感想といえればやはり、コロナの影響を強く感じました。まず毎日の体温の測定。忙しさをひしひしと感じる実習中は、特に煩わしく思いました。

また船内で感染者が発生したことも印象深いです。冬休み明けの再乗船後、数日で体調不良者が出て簡易検査が始まるなど、船内が停泊中にも関わらず慌ただしく感じました。

船酔いが気にならなかったことが印象的です。酔い止めは常飲しませんでした。ですが、問題なく、揺れ方としても就寝の際、多少、うっとうしく、感じる程度で、鳥羽丸のひどい時の揺れよりマシと思うと精神的に余裕がありました。

長い実習の間で、様々な景色を見ることができました。特に印象に残っているのは、奄美大島です。

実習中、何度も心が折れそうになりましたが、奄美大島を見る度、まだ頑張れる、そう思えました。

日本丸の食事は、とてもおいしく、印象に残った夜ご飯は、牛のステーキと鯛の塩焼きが同時に出てきたことです。

航海当直では、班で一丸となって実習しました。夜の0時から当直することもあれば、朝4時から当直することもあり、全てが新鮮で、当直が終わった後の解放感はとても気持ち良かったです。

船酔いで、立つことも出来ない状態になった時もあり、練習船の教官に「そんな理由で仕事は休めないぞ」と言われたが印象に残っています。

長期実習では全てが良い思い出になりました、次の実習でもより多くのことを学び、たくさんの思い出を作りたいです。



『銀河丸』での乗船実習

商船学科機関コース5年

南方 理玖

私達は、4年生の後期に練習船『銀河丸』で12月から約4ヶ月間乗船しました。本来は、2年生の1か月乗船が出来なかった分を合わせ、10月から6ヶ月間の乗船実習のはずだったので、新型コロナの影響で実乗船期間が2か月短縮され、その期間の実習は自宅での課題学習となりました。また、初の長期乗船でしたので、はじめの2週間は慣れない船上生活で苦労しました。しかし、段々と体が揺れに慣れて気にせず、実習に集中できるようになりました。

学校では新型コロナウイルスの影響で実験実習がほとんど出来ず、分からない部分も多かったのですが、乗船中は実際に機器を動かしたり、点検や分解、組み立てたりと実践的な実習でしたので、これまで学校で勉強してきた内容が次々に繋がっていきました。

実習以外では、神戸や別府を観光したり、自由時間に集まってゲーム大会や勉強会を行ったりと4ヶ月で多くの忘れられない思い出になりました。また、5高専の同級生に会ったのも今回が初めてでしたが、すぐに意気投合

し、みんなと共に生活していく中で、毎日がとても楽しくなりました。

就職活動で体験乗船した際、船社でも銀河丸で実習していたことと同じ作業をしていたので、今回の実習経験は非常に重要な経験だったことを確信しました。実習内容をしっかりと身に付け、就職後に機関士として活かせるようにしていきたいと思っています。



寮務主事からの挨拶

寮務主事 橋爪 仙彦

暁寮、女子寮では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を第一に考えた集団生活を継続しています。寮生の皆さんがコロナ禍での生活で気を抜いてしまわないように、日頃よりマスクの着用はもちろん他人の居室に入らないこと、食堂や浴室、補食室などが集まりやすい場所での行動など日々の生活での心がけに注意した生活を送っていただいています。また、今年度も個室対応を行っています。寮というのは集団生活の場であり、暁寮・女子寮の規律を守って生活することも当然求められます。例年通り、寮生会役員の選挙を行い、寮生会の代表である役員と寮務主事室の間で週に一度のペースで定例会を催しています。その場において、寮内の規則のあり方についても話し合いを継続しています。また、防災の観点から火災や地震を想定した避難訓練も継続しています。誰もが安心して安全に過ごせるような寮になればいいと思いつつ、日々の寮生活を見守っていきたく思います。



学生寮の紹介

商船学科航海コース5年 古城 怜士

県内外から多くの学生が集う暁寮は、A棟、B棟の2つに分けられており1～5年生までの学生たちが共同生活を送っています。今はコロナ対応で全室1人部屋で、wifiも完備されています。食事や風呂、洗濯、トイレなどは共同であり、寮独自のルールや時間が決められています。決められたことを守ることで共に暮らす仲間の気持を尊重し、楽しく、充実した寮生活が送れます。

毎週月曜日には、寮生会役員と各委員長、世話係学生、寮務主事室の先生方と「定例会」という話し合いの場を設け、より良い寮にするために1時間程度の意見交換を行っています。現在は、コロナ禍の中の寮生活においてコロナ感染者を出さないように食堂や風呂場の人数制限、他人の部屋への出入り禁止など様々な規制が強いられています。その中でも全員が少しでも住みやすく豊かに過ごせるように切磋琢磨しています。



女子寮の紹介

商船学科機関コース5年 服部 彩喜

女子寮は、現在1年生から5年生まで、合計30名で生活しています。

女子寮生が安心して生活するため、寮内には防犯設備が整えられています。女子寮の周囲のフェンス、1階窓の鉄格子、各居室のブラインド等が完備されているほか、出入口は決められた時間になると自動で施錠されます。そして、夏季休暇中には新たに防犯カメラの設置が行われ、さらに設備が強化されました。

日課やルールは男子寮と同様で、コロナ禍ということもあり制限の多い中の生活を送っていますが、寮生一人一人の協力や配慮のおかげで日々の洗濯や入浴など円滑に行われています。今年度の寮生活も残りわずかですが、制約の中にも楽しみを見つけて、共同生活の中で成長していけると良いと思います。



寮行事予定

4	入寮式	9	寮生帰寮、開寮式	
	新入寮生オリエンテーション		寮生集会(寮役員等選出)	
	新入寮生と在寮生との対面式		10	寮生防災訓練(夜間・地震)
	寮生集会(寮役員等選出)		11	寮生校長面談
	寮生防災訓練(火災)		インフルエンザ予防接種	
5	新入寮生歓迎球技大会(2022年は中止)	12	寮生クリスマス会	
	新入寮生個人面談		大掃除、閉寮前点検、閉寮式	
6	寮生会役員校長面談	1	寮生帰寮、開寮式	
	新入寮生部屋替え(2022年は中止)		卒業を祝う会	
8	寮生歓迎バーベキュー大会(2022年は中止)	2	寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式	
	七夕行事		1～4年生寮生帰省閉寮(10:00)、S5寮生退寮	
	閉寮式			
	寮生帰省、閉寮、閉寮点検			

国際交流プログラム



本校におけるグローバル教育及び国際交流の推進を図るため、グローバル教育推進室を中心として、毎年多くの国際交流プログラムを実施しています。主なプログラムは、次のとおりとなります。

① MEL キャンプ

交流協定を締結している SMA で実施している MEL キャンププログラムへ派遣しています。期間の前半は SMA での語学研修を実施し、後半は客船内で研修を実施しています。
また、現地日系企業への訪問も実施しています。

② KCC 国際インターンシップ

アメリカのハワイ州カウアイ島にて、伝統的な航海カヌー「NAMAHOE」航海訓練、維持作業等を経験し、異文化間を含めたコミュニケーション能力を培います。また、期間中の前半では語学研修を中心とした座学を行います。

③ 日タイ高校生 ICT フェア

日タイ高校生 ICT フェアへの参加を通じて学生のコミュニケーション能力と学術能力の向上を図ります。開催中は分科会での発表やフィールドワークなどを行います。また、交流活動を行います。

④ SP プロジェクト

高専機構と包括協定を締結しているシンガポールポリテクニク (SP) との交流事業であり、SP 学生が主体となるプロジェクト型学習 (PBL) と本校学生協同のフィールドワークで構成されています。

国際交流プログラム

事業	実施場所
MEL キャンプ	シンガポール
KCC 国際インターンシップ	オンライン
日タイ高校生 ICT フェア	タイ
SP project in TOBA	鳥羽



令和4年10月26日に開催された国際交流報告会(KCC国際インターンシップオンラインプログラム(令和4年2月~3月)について)の様子

教員の活躍

論文賞受賞について

一般教育科 准教授 田中 秀幸

令和3年に、共同研究者の萩原氏(東京大学)との共同研究が評価され、日本応用数理学会論文賞を受賞しました。研究の内容について語ると長々とした説明になりそうですので、ここではわかりやすく「研究に取り組むとはどういうことか」を書きたいと思います。

数学の研究の場合は、おそらく研究している時間の99%は、わからないことを考えている時間です。問題が解けてうれしいという時間はめったにありません。学生の皆さんは、授業でわからない問題があったときに、教官や周りの友人にヒントを求めず、自分ひとりですつと考え続けることを想像してみてください。そのように、わからないことを考え続ける時間を楽しいと感じるなら、研究者になる適性があるかもしれません。現在の成績に関係なく、大学・大学院への進学を意識してみたいかがでしょうか。



学生会活動について

学生会会長 澤村 健

学生会会長をしております澤村健です。我々学生会はピアサポーター養成トレーニングを通して他高専との交流や体育祭・海学祭の運営など、幅広い活動をしております。

9月17日に行われたピアサポーター養成トレーニングは、互いにサポートし合える学生を養成することを目的とし、学生会役員の他に、各クラブの代表、寮生、会役員が参加しました。また、鈴鹿高専の学生会役員にも参加していただきました。

コミュニケーションスキルの取得を目的としたグループワークでは、学科や学年、部活動の壁を越えて、フラットな形で取り組むことができました。我々学生会は、部活動のように大会等がないため、他高専との交流を深める貴重な機会となりました。今後も学内外問わず積極的な交流ができればと思っております。

また、6月8日に行われた体育祭は、コロナ感染症の影響から2年間開催することができておりませんでした。今年度、満を辞して開催することができました。しかし、未だコロナウイルス感染症の影響はあるため、新競技として、直接的な接触の少ないスポーツを導入する他、過去2年間の海学祭の中で培った技

術を活かした配信や映像コンテンツを導入することで、開催することができました。

現在は、海学祭の開催に向けて準備を進めております。今年度は模擬店の出店を行う他、一般来場者を受け入れる等から、3年ぶりに「本来の」海学祭が帰ってくる予定です。対面開催の経験がない学生が半数以上であることを逆手にとつて、新たな取り組みを織り込み、3年前の対面開催から、さらにパワーアップした形を目指しております。学生はもちろん、学外の来場者の皆様にも十分に楽しんでいただける海学祭を作り上げてみせますので、ご期待いただきたいと思います。

(4・11・5執筆)



集合写真



会議風景

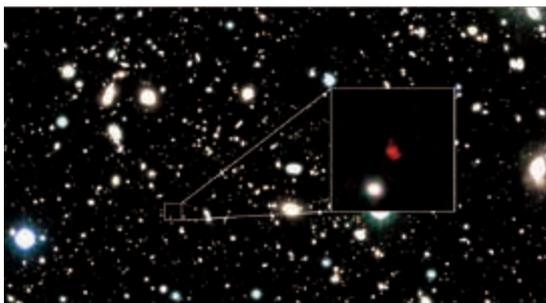
研究成果について

一般教育科 准教授 山中 郷史

私も参加をしている、東京大学宇宙線研究所の播金優一助教と早稲田大学理工学術院先進理工学部の上昭雄教授を中心とする国際研究チームは、135億光年かなたの宇宙に存在する明るい銀河の候補、HDIを発見しました。

発見された銀河は非常に明るく、現在までに見つかっている銀河の中では、最も遠い候補になります。宇宙年齢は138億年と考えられているので、135億光年かなたの宇宙はビッグバン後3億年の宇宙を意味します。人の感覚では3億年と聞くと非常に長く感じてしましますが、ビッグバン後わずか3億年の宇宙に、このような非常に明るい銀河が既に形成されていたことはとても興味深いです。こちら

の銀河候補は昨年打ち上げられたジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡の第1期観測のターゲットにもなっていて、今後の観測とその結果がとても楽しみな天体です。



図：今回発見された最遠方の銀河候補HD1の画像です。拡大図の中心にある赤い天体が、最遠方銀河候補HD1です。色はVISTA望遠鏡による3色の観測データを合成して疑似的につけています。(クレジット: Harikane et al. 2022, ApJ, 929, 1; doi:10.3847/1538-4357/ac53a9)

R4.1 ~ R4.12に締結した協定一覧

- 鳥羽商船高等専門学校と中電シーティーアイとの包括連携に関する協定**
 (締結日：令和4年1月14日)
 鳥羽商船の持つ教育研究資源ならびに地域に密着したこれまでの活動から得たノウハウと、中電シーティーアイの幅広い分野のIT技術を通じて、地域社会の持続的な発展に資する活動の展開を目的としています。
- 皇學館大学と鳥羽商船高等専門学校等の包括連携協定に関する協定**
 (締結日：令和4年6月24日)
 皇學館大学と鳥羽商船高等専門学校が包括的な連携・協力のもと、文理の枠にとらわれず、分野横断的な視点から、実社会での課題を発見・解決し、新たな社会的価値を創造する資質・能力を持った人材の育成（STEAM教育）を推進することを目的としています。
- 鳥羽商船高等専門学校と三重県との包括的連携に関する協定**
 (締結日：令和4年8月31日)
 三重県産業の振興や地域の活性化に貢献する人材を育成するとともに、地域課題に迅速かつ適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与することを目的としています。
- 海のシリコンバレー「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」に関する協定**
 (締結日：令和4年10月1日)
 伊勢志摩地域に拠点がある地方公共団体、高等教育機関、公的研究機関、地元企業が海洋・水産に関わる教育活動、研究活動及び地域連携活動を通し、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

公開講座と出前授業一覧表

公開講座一覧 サイテクラッド in 鳥羽商船高専 2022

講座名称
※船員の仕事 in 鳥羽商船（鳥羽クルーズ）
ビー玉スターリングエンジン
ことばのイメージとグローバルについて
英語高速学習（中1で英検3級へ）
おもしろ理科実験
IchigoJamでマイコンプログラミング
光を知り、使い、役立てる (天体望遠鏡を作ってみよう & レーザー加工機でモノづくり) 小学生向け
光を知り、使い、役立てる (天体望遠鏡を作ってみよう & レーザー加工機でモノづくり) 中学生向け
レーザー加工機を用いたアクリルスタンド作成
3D CAD, 3Dプリンタ
サイバーセキュリティ体験学習

※は新型コロナウイルス感染症の影響及び悪天候により中止しました

出前授業一覧

講座名称
タブレット端末を活用したプログラミング学習
プログラミング教室
高校授業体験講座
プログラミングに関する出前授業
LEGOロボットを作ろう



ビー玉



天体望遠鏡



令和4年9月23日
 挙行されました

商船学科
 卒業式の様子

編集後記



学校だよりVol.94いかがでしたか？ 学校の動向や、学生が課外活動やコンテスト等に、一生懸命に取り組んでいる様子が伝わったのではないかと思います。新任教職員紹介や教員の活躍等、普段はあまり目にする機会が少ない情報も載せています。興味を持って、じっくりと読んでいただくと幸いです。末尾になりましたが、本号発行にご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。(林記)

